

集中改革プランに基づく平成21年度の実績について

藤岡市行政改革推進計画「集中改革プラン」（平成18年11月29日公表）に基づく平成21年度の実績が下表のとおりまとまりました。平成21年度の取組による財政効果計画額は1,043,648千円であったのに対し、実績額は907,218千円（△136,430千円、13.1%減）でした。その主な理由は、普通建設事業の見直しによる事業費の縮減を平成20年度までとし、平成21年度から道路改良事業や小中学校大規模改修事業などの推進に伴い事業費の拡充を図ったためです。

- ※ 整理番号及び取組項目は集中改革プランに対応しています。
- ※ 平成18年度当初予算額を基準に、見込額との差額を効果額としています。効果額は、歳入増額、歳出削減額を正の整数。歳入減額、歳出増額になるものは△印で表記しています。
- また、現時点で効果額が算定できないもの、効果額が金額で表せないものについては「-」で表記しています。

1 市民の視点による行政サービスの実施

(単位：千円)

整理番号	担当課	取組項目	平成21年度の実績	平成21年度計画額	平成21年度実績額
1-1	企画課	協働によるまちづくりの推進	(社)藤岡青年会議所と市の協働で「ふじおか市民協議会」を開催した。「子どもたちのために今できること」について35人の無作為抽出市民に討議いただき、その結果を市へ報告書として提案した。市は、その提案を今後の施策展開の参考とする。	-	-
1-2	企画課	市長と市民との対話・意見交換の促進	市長と市民との直接対話・意見交換会として、地区別座談会を市内8公民館において開催した。(参加者合計：344人、テーマ：市民が創り輝くやさしい藤岡を目指して)	-	-
1-3	行革推進室	行政評価制度の導入	平成20年度実施の事務事業(360事業)について事後評価を行い、改善・見直しが54事業、維持継続297事業、完了6事業、廃止1事業、方向性なし2事業。市のホームページで評価結果の公表を行った。	-	-
1-4	職員課	接遇の向上	マニュアルの活用及び接遇研修の実施により、個々の一層のマナー向上と職場全体の接遇の向上を図った。 ・新規採用職員を対象とした接遇研修(13人) ・窓口サービスアップ研修(29人) ・接遇対応初級・中級(リーダー)研修(46人) ・派遣研修(指導者養成講座)(1人)	-	-
1-5	行政課	市民意見公募手続制度(パブリックコメント)の導入	<実施案件> ①藤岡市情報化推進計画 提出意見1件 ②藤岡市次世代育成支援行動計画(後期) 提出意見8件	-	-
小 計				0	0

2 事務事業の見直し

整理番号	担当課	取組項目	平成21年度の実績	平成21年度計画額	平成21年度実績額
2-1	企画課	普通建設事業の見直し	平成19年度・20年度に見直し。	210,000	-
2-2	商工観光課	ららん藤岡指定管理委託料の見直し	平成18年度指定管理料(「花の交流館」の花展示費用)2,000万円であったものを平成19年度1,800万円、20年度1,600万円、21年度では1,200万円とした。	20,000	8,000
2-3	企画課	みかぼみらい館プラネタリウム事業の見直し	平成20年度に見直し。	-	-
2-4	財政課	庁舎清掃業務委託料の見直し	職員による事務室等の清掃実施により業者が行う清掃範囲の縮小、また長期継続契約により委託料の削減を実施した。	7,863	8,434
2-5	財政課	庁用車管理の見直し	地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、老朽化した庁用車、スクールバス、路線バス、交通指導車、防犯パトカーの更新を実施した。	-	288
2-6	財政課	水道事業会計出資金の見直し	平成18年度から休止(平成17年度実績16,444千円)。	-	-
2-7	行政課	法令図書加除の総点検	通常の業務に必要な加除は行い、不要なものは中止を検討した。各課において必要な単行本を購入。	-	-
2-8	行政課	行政事務委託料の見直し	平成19年度・20年度に見直し。	2,028	1,464
2-9	職員課	退職・永年勤続職員表彰記念品の廃止	平成19年度に廃止。	-	715
2-10	行革推進室	事務事業マニュアルの整備	平成20年度に実施。	-	-
2-11	情報能率課	電算事務委託料の見直し	・「藤岡市情報化推進計画」を策定し、市が取り組むべき政策について、その目標と具体的な推進方策を示した。 ・住民情報システムの一部(一般会計分)の一括契約を行った。	3,907	6,401

2-12	契約検査課	電子入札の推進	・建設工事：指名競争入札の入札件数279件中、電子入札268件実施（実施率96.1%）。 ・測量、建設コンサル：指名競争入札の入札件数60件中、電子入札60件実施（実施率100%）。	—	—
2-13	契約検査課	公共工事のコスト削減	コスト削減対策会議を開催し、検証と評価を行った。工事チェックリスト件数298件。	—	—
2-14	市民課	霊柩車運行委託業務の廃止	平成19年度に廃止。	4,120	7,456
2-15	保険年金課	福祉医療費の見直し	平成21年10月から、生徒に係る福祉医療費助成の範囲を、通院は小学校6年生までから中学校3年生までに拡大した。（入院は、現行の中学校3年生までが対象。）	37,400	—
2-16	環境課	藤岡吉井環境衛生事務組合の多野藤岡広域市町村圏振興整備組合への統合	平成19年度に統合。	16,513	15,117
2-17	環境課	環境美化監視員の見直し	環境美化監視員制度に代わる新たな体制として平成21年度から地域美化活動推進事業を実施した（参加団体15団体）。	—	—
2-18	環境課	鮎川水系水質分析委託料の見直し	調査回数を年2回（夏、冬）とし、調査地点14か所で調査実施。	700	1,166
2-19	清掃センター	廃棄物減量等推進員制度の廃止	廃棄物減量等推進員制度に代わる新たな体制として平成21年度から、ごみ分別指導管理に関する業務を行政区に委託し、市民のごみ分別に対する意識の向上と収集所におけるごみ分別の徹底を図った。	6,720	4,127
2-20	清掃センター	資源化センター周辺環境調査委託業務の廃止	平成18年度に廃止。	1,436	1,436
2-21	健康づくり課	在宅当番医制運営費委託料の見直し	平成19年度に見直し。	202	202
2-22	健康づくり課	食生活改善推進事業委託料の見直し	平成19年度に見直し。	125	125
2-23	介護高齢課	老人福祉センター連絡協議会負担金の見直し	平成19年度に見直し。	7	7
2-24	介護高齢課	敬老祝金の見直し	平成19年度に住所要件、年齢要件を見直し。遺族への慶弔金廃止。	12,989	9,069
2-25	介護高齢課	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業委託料の見直し	平成19年度に見直し。	—	—
2-26	介護高齢課	高齢者保健福祉事業の見直し	ミニデイサービス事業は平成19年度から鬼石地区2か所を拡充した。	△ 42	△ 1,385
2-27	福祉課	近年難病患者見舞金の見直し	平成19年度に見直し。	400	1,170
2-28	福祉課	栗須の郷指定管理委託料の見直し	小部屋の利用促進を図るため、利用料金を見直しを行った。	—	—
2-29	子ども課	在宅重度障害児手当の廃止	平成19年度に廃止。	1,584	1,584
2-30	子ども課	ファミリーサポートセンター事業の見直し	平成19年度に見直し。	928	492
2-31	子ども課	チャイルドシート貸出業務の廃止	平成19年度に廃止。	—	—
2-32	子ども課	不妊治療費助成事業の推進	助成件数：63件（平成20年度55件） 助成額：5,363千円（平成20年度4,309千円）	—	△ 5,363
2-33	子ども課	みかば保育園給食配送委託業務の廃止	平成19年度に委託方法を見直し。	409	338
2-34	商工観光課	竹沼清掃委託料・竹沼ボート等管理委託料の見直し	平成19年度・20年度に見直し。	1,811	927
2-35	商工観光課	ふじの里推進事業の見直し	樹木の剪定や清掃等、維持管理費の削減に努めた。	148	2,158
2-36	農業委員会	全国農業新聞購読料の個人負担化	平成19年度に見直し。	230	223
2-37	土木課	日野谷・高山整備委託料の見直し	平成19年度で予定箇所の事業終了。	480	473
2-38	土木課	道路新設改良事業の見直し	平成19年度に策定した評価基準に基づき、新たに10路線に事業着手した。	—	—

2-39	公共施設管理事務所	公園施設管理事業の見直し	樹木・芝生管理等を中心に見直し、委託料の削減に努めた。	4,354	2,191
2-40	公共施設管理事務所	運動施設管理事業の見直し	管理委託費は削減できたものの施設の修繕に費用を要した。	2,357	1,863
2-41	公共施設管理事務所	藤岡市民プール指定管理委託料の見直し	指定管理者の更新にあたり平成20年度に内容等の精査を行った。	—	—
2-42	総務課	多野藤岡地区市町村教育連絡協議会負担金の見直し	平成19年度に見直し。	1,225	1,226
2-43	学校教育課	適応指導員の充実	市内小中学校全校に特別支援教育支援員を配置した。対象児童生徒が多い学校には複数の支援員を配置した。	△ 3,408	△ 3,034
2-44	学校教育課	校長会委託料の見直し	平成19年度に見直し。	△ 560	△ 735
2-45	学校教育課	学校備品及び教材備品購入費の見直し	管理用・教材用備品ともに、学校配当予算のなかで計画的な整備を進めた。国庫補助事業で、デジタルテレビ・電子黒板・実物投影機等の整備を行った。	3,760	5,379
2-46	学校教育課	教育振興消耗品費の見直し	平成19年度に見直し。	800	—
2-47	学校教育課	要保護・準要保護就学援助費の見直し	平成18年度に見直し。	—	—
2-48	学校教育課	そろばん教育講師派遣事業の充実	群馬県珠算連盟の協力を得て、小学校に講師を派遣。算数・総合的な学習の時間・クラブ活動等で講師の先生と担当教諭で協力して授業を行い、成果を上げた。 【派遣実績】計176時間(日野小は学校ボランティアで対応)	△ 200	88
2-49	生涯学習課	和算研究会賛助会負担金の見直し	平成20年度に見直し。	50	50
2-50	生涯学習課	こどもパソコン教室委託事業の廃止	平成19年度に廃止。	101	101
2-51	生涯学習課	地区公民館管理委託料の見直し	平成19年度に見直し。	177	177
2-52	生涯学習課	アドベンチャースクール委託事業の廃止	平成19年度に廃止。	900	900
2-53	生涯学習課	学級講座運営事業の見直し	平成20年度に講師謝礼基準を見直し。参加者が少ない定例教室を廃止し、7公民館で36教室を実施した。	610	4,174
2-54	生涯学習課	情報通信技術講習委託事業の廃止	平成19年度に廃止。	1,100	1,100
2-55	文化財保護課	古墳管理・城址公園管理委託料の見直し	地元保存会の協力を得て委託料の削減を図った。	642	759
2-56	スポーツ課	スポーツ教室事業委託料の見直し	平成19年度に見直し。	85	104
2-57	図書館	図書館運営事業の見直し	主催事業開催の意義を検討し、実施及び講師謝礼の見直しを図った。樹木等剪定委託業務を精査し、除草や低木の剪定は職員及びボランティアが行った。	140	259
2-58	関係各課	印刷物の見直し	ホームページの活用、外部発注から内部印刷への変更。紙質の変更、ページ数の見直しなどにより、印刷製本費を削減した。	2,483	2,556
2-59	関係各課	補助金の見直し	制度的補助、施策的補助、奨励的補助、それぞれの基準に沿って補助金の事務が適正に行われた。	41,870	49,980
2-60	関係各課	入札差金の使い残し	工事費、委託料等の入札差金の使い残しを徹底し、補正予算で減額した。	—	53,897
小 計				386,444	185,659

3 組織・機構の見直し

整理番号	担当課	取組項目	平成21年度の実績	平成21年度計画額	平成21年度実績額
3-1	行革推進室	組織・機構の見直し	定額給付金交付事務終了に伴い企画課の定額給付金係を廃止するとともに、効率的な予算事務を行うため財政課に予算係を新設した(平成21年11月1日付)。	—	—
3-2	行革推進室	スタッフ制の導入検討	—	—	—

3-3	地域安全課	危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・美原地区避難訓練（6月7日） ・藤岡市防災訓練（7月26日） ・藤岡市防災講演会（10月9日） ・美原地区防災マップの作成 ・藤岡市災害時要援護者避難支援プランの作成 ・衛星携帯電話の導入検討 ・洪水ハザードマップの作成 	—	—
小 計				0	0

4 財政構造の健全化

整理番号	担当課	取組項目	平成21年度の実績	平成21年度 計画額	平成21年度 実績額
4-1	企画課	第三セクターの統合	平成18年度に㈱藤岡クロスパークが藤岡市農業振興㈱を統合。	—	—
4-2	財政課	広告料収入の確保	<p>平成18年12月1日制定の有料広告掲載要綱及び基準に基づき、ホームページのバナー広告及び広報ふじおかより広告を募集。</p> <p>(広告料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP 775千円 ・広報ふじおか 1,230千円 ・庁用車 46千円 	1,678	2,051
4-3	財政課	未利用地・不用物品の処分	<p>普通財産の土地、マイクロバス、市有林立木の売払いを実施</p> <p>(売払い額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地 374.96㎡ 5,062千円 ・マイクロバス4台 3,023千円 ・市有林立木 13千円 	—	8,098
4-4	財政課	地方債借入の抑制	<p>交付税措置の有利な合併特例債の活用。</p> <p>(活用例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所施設整備事業債（25,400千円） ・藤岡第二小学校大規模改修事業債（113,400千円） ・藤岡第二小学校体育館建設事業債（161,300千円） ・鬼石北小学校大規模改修事業債（118,800千円） ・東中学校大規模改修事業債（107,300千円） ・西中学校体育館大規模改修事業債（51,500千円） ・北中学校体育館大規模改修事業債（41,100千円） ・総合学習センター建設事業債（809,500千円） 	—	—
4-5	行革推進室	使用料・手数料の見直し	平成19年度・20年度見直し。	—	—
4-6	納税相談課	市税の収納率向上	平成21年度からコンビニ収納をスタート。口座振替の再振替は平成21年度をもって廃止し、事務の効率化を図った。財産調査や差し押さえ不良債権の整理などの滞納整理業務の徹底を図った。平成21年度収納率 88.67%	—	—
4-7	保険年金課	国民健康保険事業勘定特別会計の健全化	平成19年度に税率改正を行った。	300,000	435,020
4-8	環境課	特定地域生活排水処理事業の見直し	管理施設が12基増加したため清掃管理委託料が増加した。	2,100	—
4-9	清掃センター	古紙分別収集事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成21年度（保存版）ごみの分け方・出し方」を作成し、毎戸配布した。 ・その他紙の資源化を推進するため、「その他紙は資源です！」の回覧板及び清掃センター施設見学の際に協力依頼した。 	2,000	4,625
4-10	清掃センター	金属廃材の分別資源化推進	分別品目増を検討し、需要競争も視野に、定期的に入札を実施した。	2,000	8,420
4-11	商工観光課	将来的な市税収入の確保	北部工業団地や三本木工業団地の造成、企業誘致を推進した。	—	—
4-12	建築課	市営住宅駐車場使用料の見直し	平成19年度に見直し。	2,691	—
4-13	下水道課	下水道事業特別会計の健全化	下水道接続率向上を目的に、未接続世帯及び事業所等への戸別訪問を行い、接続依頼をした。	30,000	—
4-14	生涯学習課	関孝和先生顕彰全日本珠算大会の参加費徴収	平成19年度から参加費1,000円/人徴収。	—	285

4-15	関係各課	地方公営企業の中期経営計画策定	各地方公営企業において計画的・効率的な経営に取り組んだ。	—	—
4-16	関係各課	外郭団体への要請	各団体において財政の健全化や効率的な事業執行に取り組んだ。	—	—
4-17	関係各課	一部事務組合への要請	各組合において財政の健全化や効率的な事業執行に取り組んだ。	—	—
小 計				340,469	458,499

5 定員管理・給与の適正化

整理番号	担当課	取組項目	平成21年度の実績	平成21年度計画額	平成21年度実績額
5-1	職員課	定員管理の適正化	鬼石病院・介護老人保健施設鬼石を除く職員数は、平成17年4月1日527人から50人を削減し、平成22年4月1日現在で477人となった。また、鬼石病院・介護老人保健施設鬼石の職員数は、平成17年4月1日79人から17人増員し、平成22年4月1日現在で96人となった。	200,424	214,740
5-2	職員課	嘱託職員・臨時職員の見直し	嘱託職員・臨時職員は正規職員の削減状況等を考慮しつつ適正な配置に努めた。	—	—
5-3	職員課	勤務形態の見直し	業務適正化計画を作成し、時間外勤務手当の削減を図った。	2,000	—
5-4	職員課	給与制度の見直し	人事考課制度の試行を継続的に実施。6月に考課者を対象とした実施研修を行った。	—	—
5-5	職員課	給与構造の見直し	平成18年度に実施済み。	—	—
5-6	職員課	退職時特昇（勸奨退職時）制度の廃止	平成20年度全部廃止。	2,490	415
5-7	職員課	特殊勤務手当の見直し	平成19年度に見直し。	794	794
5-8	職員課	管理職手当のカット	医療職を除く管理職員について、課長職以上30%カット、課長補佐・係長職25%カットを実施。	31,075	34,107
5-9	職員課	三役給料のカット	市長・副市長・教育長給料の一律5%カットを実施（平成19年度～平成21年度）。	1,356	1,356
5-10	職員課	職員給料のカット	平成20年度に実施。	64,874	—
小 計				303,013	251,412

6 公共施設の設置及び管理運営の合理化

整理番号	担当課	取組項目	平成21年度の実績	平成21年度計画額	平成21年度実績額
6-1	市民課	市民サービスセンターの見直し	平成19年度に見直し。業務時間については午前9時30分から正午まで。基本的な諸証明の発行を行った。	—	1,858
6-2	介護高齢課	老人福祉センターの見直し	平成19年度に見直し。	13,458	8,896
6-3	福祉課	ゆったり館の見直し	平成19年度に見直し。開館は204日。利用者7,708人。1日平均37.7人。	—	—
6-4	子ども課	市立保育園の民営化検討	藤岡市立保育園民営化等検討委員会で検討した結果、小野保育園・おにし保育園は、民間保育園では対応が難しい障害児保育等公立保育園の果たすべき役割を確認し、保育の充実を図ることとした。	—	—
6-5	子ども課	北ノ原幼稚園の廃園	年長組（13人）のみの運営。平成22年3月31日閉園。	1,264	1,232
6-6	公共施設管理事務所	鬼石プールの見直し	平成19年度に見直し。	—	245
小 計				14,722	12,231

7 人材の育成と活力の発揮

整理番号	担当課	取組項目	平成21年度の実績	平成21年度計画額	平成21年度実績額
7-1	行革推進室	オフサイトミーティングの導入	オフサイトミーティングの趣旨を事務事業評価に採り入れ、事務事業評価表の作成を通してミーティングを行った。	—	—
7-2	職員課	職員研修の充実	職員課が行う一般研修8コース及び専門研修6コースのほか、派遣研修32コースを実施し、延べ473人が受講した。	△ 1,000	△ 583
小 計				△ 1,000	△ 583

合 計				平成21年度計画額	平成21年度実績額
				1,043,648	907,218